事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表　　はい・・○　どちらともいえない・・△　いいえ・・×　該当事象がない・・　－

	スタッフ氏名	A	B	C	D	コメント
環境整備・体制整備						
1	利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○	○	○	○	
2	職員の配置数は適切であるか	△	△	○	△	
3	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	○	○	△	
業務内容						
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	△	○	○	○	
5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	○	○	△	○	
6	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	○	○	△	
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	△	△	×	○	
8	職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○	○	○	○	
適切な支援の提供						
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	△	○	○	
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△	○	○	○	
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○	○	○	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○	○	○	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○	○	○	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	○	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	○	○	
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振返りを行い、気づいた点などを共有しているか	△	○	○	○	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○	○	○	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	○	○	

事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表　　はい・・○　どちらともいえない・・△　いいえ・・×　該当事象がない・・　－

	スタッフ氏名	A	B	C	D	コメント
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○	○	○	○	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	○	○	
21	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など）、連絡調整（送迎時対応、トラブル発生連絡）を適切に行っているか	○	○	○	○	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	×	○	－	○	対象となる児童がいない
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	△	○	△	△	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	△	△	－	○	現在対象児童がいない 来年対象となる児童が発生予定
25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	△	△	△	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	×	×	△	
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	△	○	△	区の主催する会議に参加している
28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○	○	○	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	×	△	－	○	ペアレントトレーニングはおこなっていませんが、相談などを受けたら、少しでも軽減できるようにお話をさせていただく機会を設けています。
保護者への説明責任等						
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	○	△	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	○	○	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	×	△	親子で参加できるテーマを数回企画させていただく予定です。